

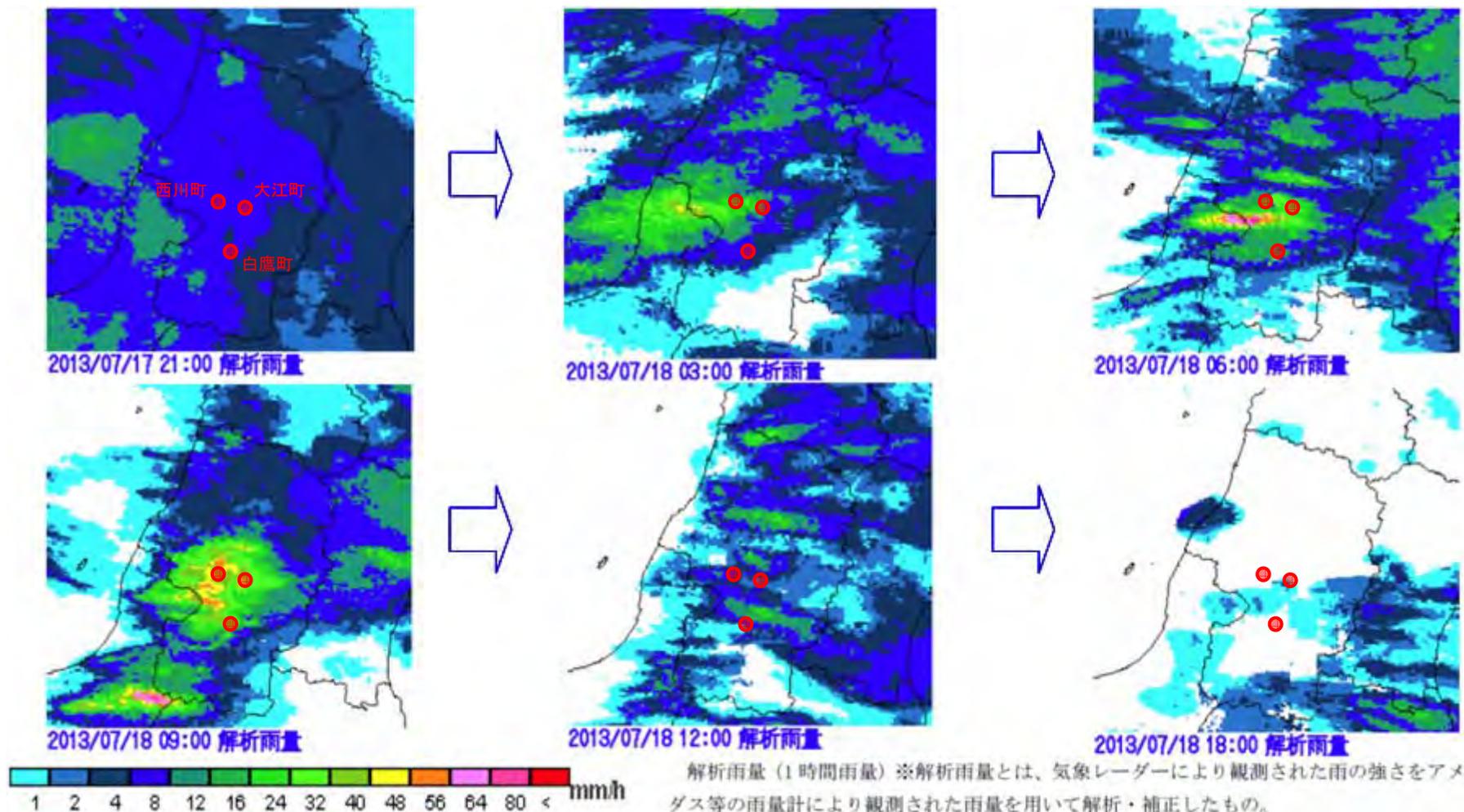
山形県内における 平成25年7月洪水の 概要について

平成25年11月13日

山形県 県土整備部

7/18降雨概要

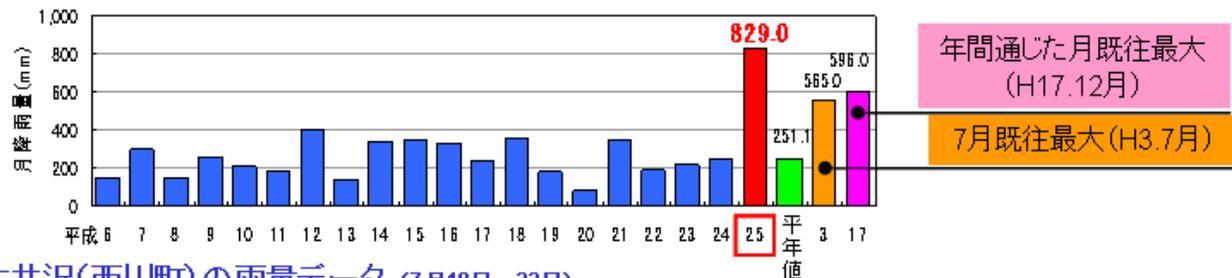
7月17日に日本海にあった低気圧がゆっくり南東に進み、18日には山形県付近を通過した。この低気圧に向かって太平洋高気圧から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となったため、山形県では断続的に非常に激しい雨となった。



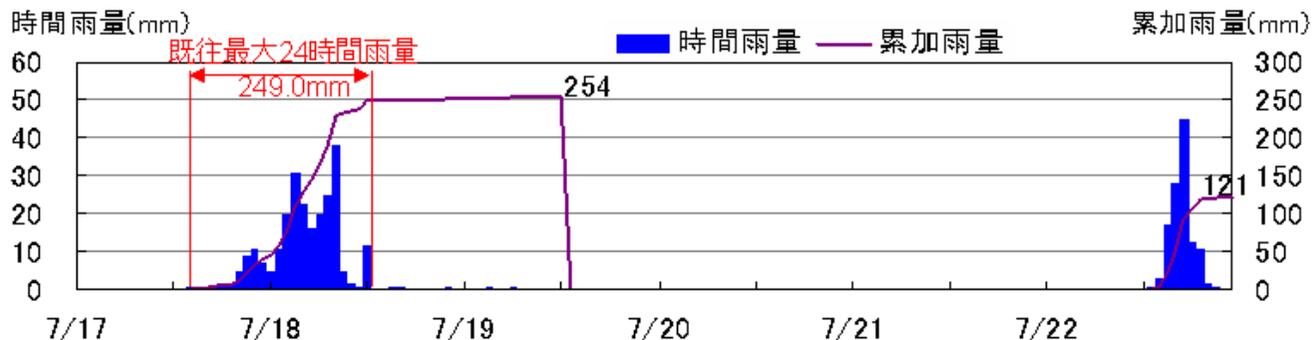
7/18降雨概要

西川町大井沢では、日最大降水量や24時間最大降水量が統計開始以降1位の記録を更新したほか、鶴岡では1時間降水量が統計開始以降1位の記録を更新するなど県内の広い範囲で記録的な大雨となった。

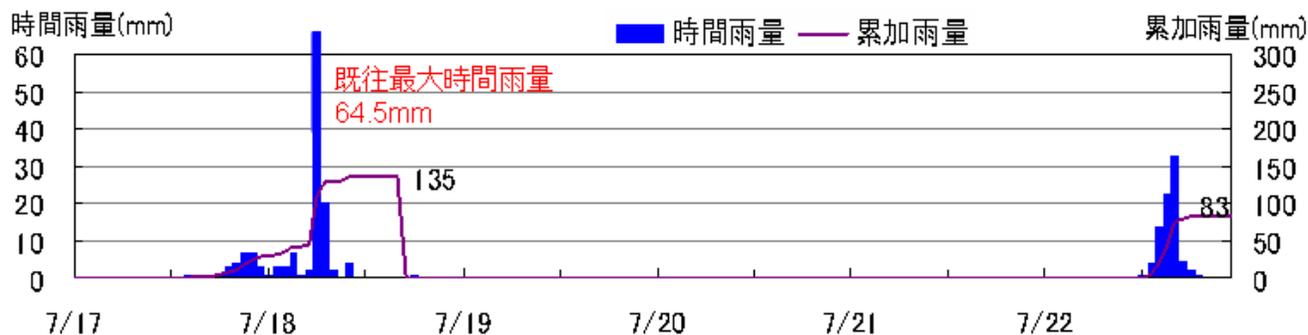
◆7月月間降水量 大井沢(西川町) (過去20年の推移)



◆大井沢(西川町)の雨量データ (7月18日~22日)



◆鶴岡(鶴岡市)の雨量データ (7月18日~22日)



H25.7豪雨の被害について

7月18日から23日にかけての被害概況(11/8時点)

○人的被害 行方不明者1名 負傷者3名

○建物被害

・住家 全壊3棟 半壊8棟 損壊3棟 床上浸水49棟 床下浸水388棟 計451棟

・非住家 全壊8棟 一部損壊6棟 浸水226棟 計240棟

○道路(路面冠水、土砂崩落、法面崩落など)

・被害箇所 337箇所(高速4、国道27、県道76、市町村道路230)

うち通行規制(10/18現在) 138箇所(国道4、県道23、市町村道111)

○河川(県管理) 被害河川 133河川 400箇所(護岸決壊、土砂堆積、洗掘)

○土砂災害 49箇所(がけ崩れ、土砂流出など)

○農林水産被害

・農作物等 水稻・豆類・野菜・果樹等6,849ha

家畜等 豚226頭、養蜂50群

・施設 41件(豚舎全壊、おうとう雨よけハウス損壊など)

・農地・農業用施設 740箇所(農地・農道法面崩落、土砂流入など)

・農林関係 462箇所(林地崩落、林道法面崩落など)

・水産関係 7箇所(養殖施設破損など)

・被害額 7,907百万円

(山形県災害対策本部資料より)

特に7月18日の最上川水系月布川、吉野川流域において記録的な豪雨となり、流域の広い範囲で避難指示の発令、住宅の浸水等の被害が発生した。

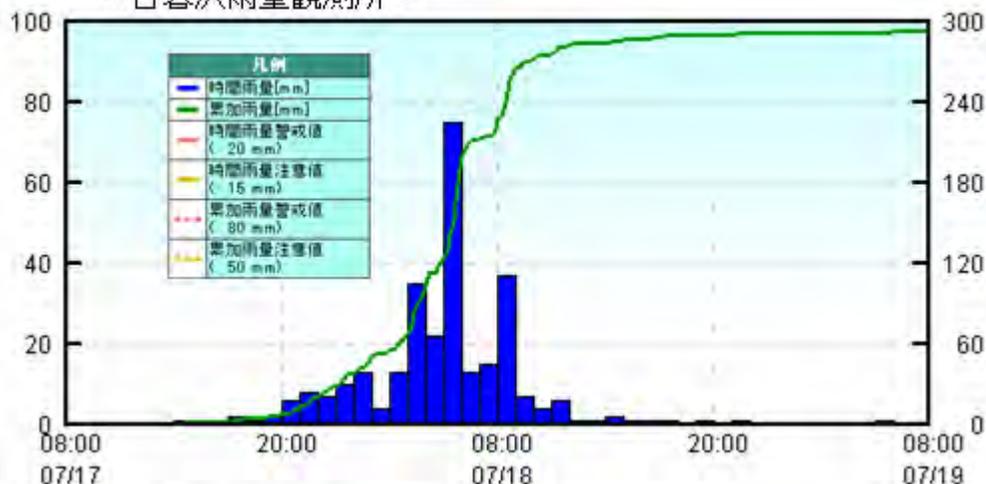
月布川について



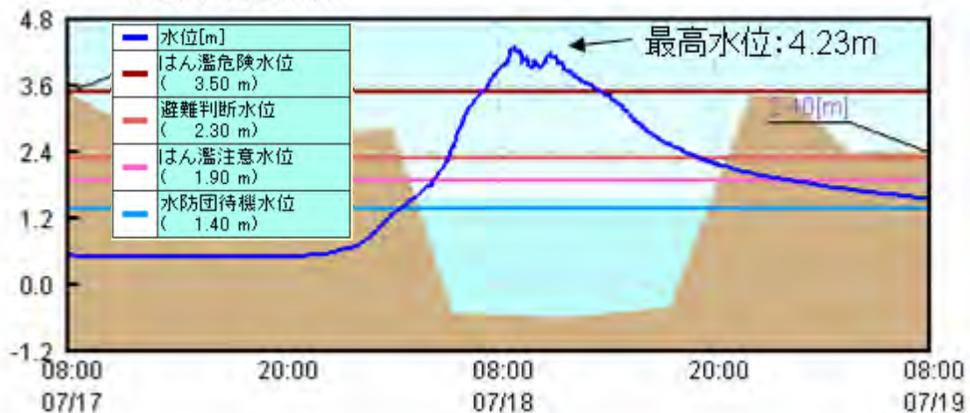
月布川における7/18降雨概要

7月17日～7月18日にかけての豪雨により、月布川流域の雨量は大江町の月布観測所では、累計雨量209mm、時間最大雨量35mmを観測した。また、月布川の上流にある日暮沢観測所では累計雨量292mm、時間最大雨量75mmを観測した。

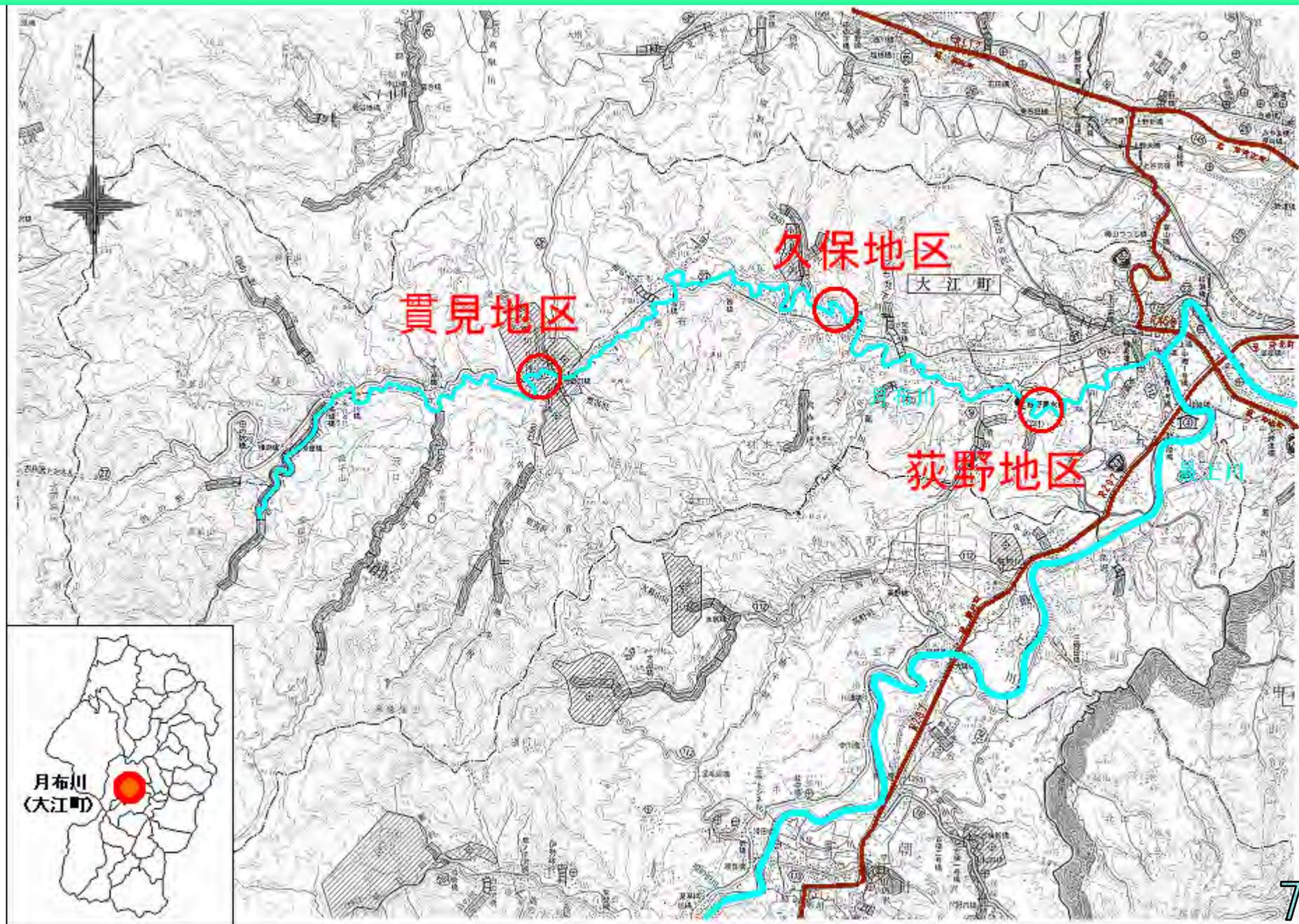
～日暮沢雨量観測所～



～荻野水位観測所～



月布川の被害状況について





大江町貫見地区 7/18 撮影



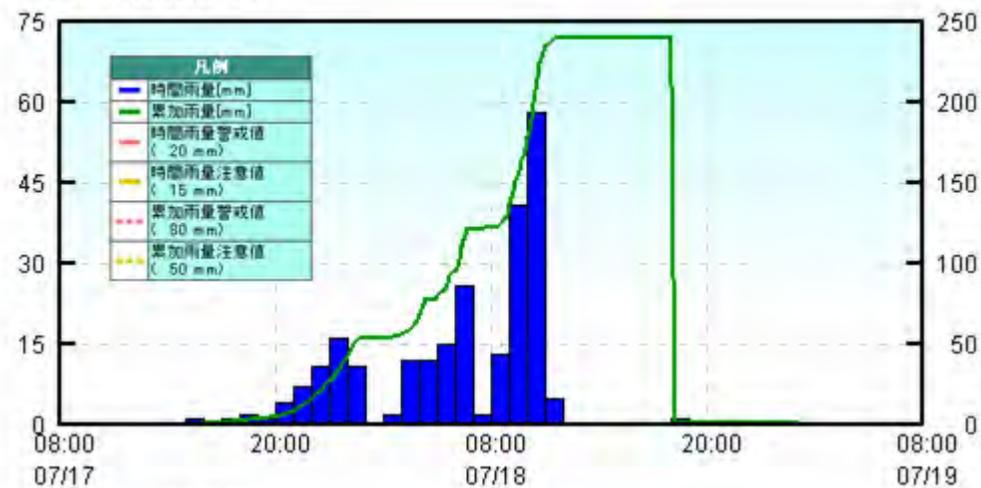
大江町久保地区 7/18 撮影



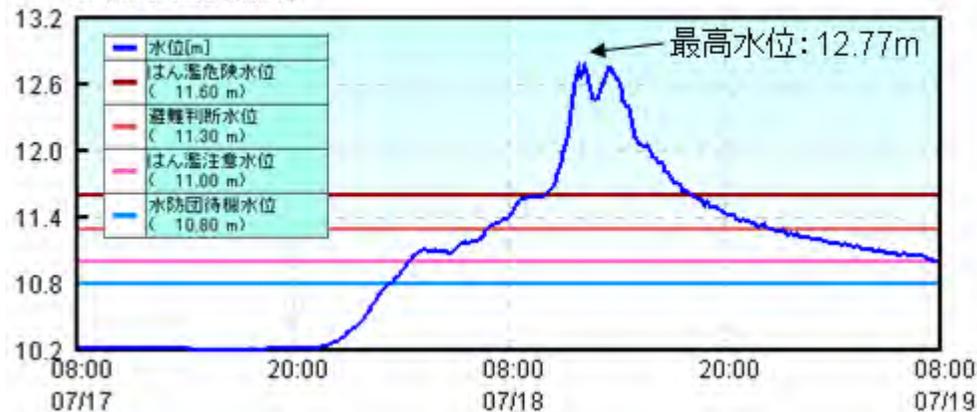
吉野川における7/18降雨概要

7月17日～7月18日にかけての豪雨により、吉野川流域の雨量は南陽市の金山観測所では、累計雨量122mm、時間最大雨量30mmを観測した。また、吉野川の上流にある貝生観測所では累計雨量240mm、時間最大雨量58mmを観測した。

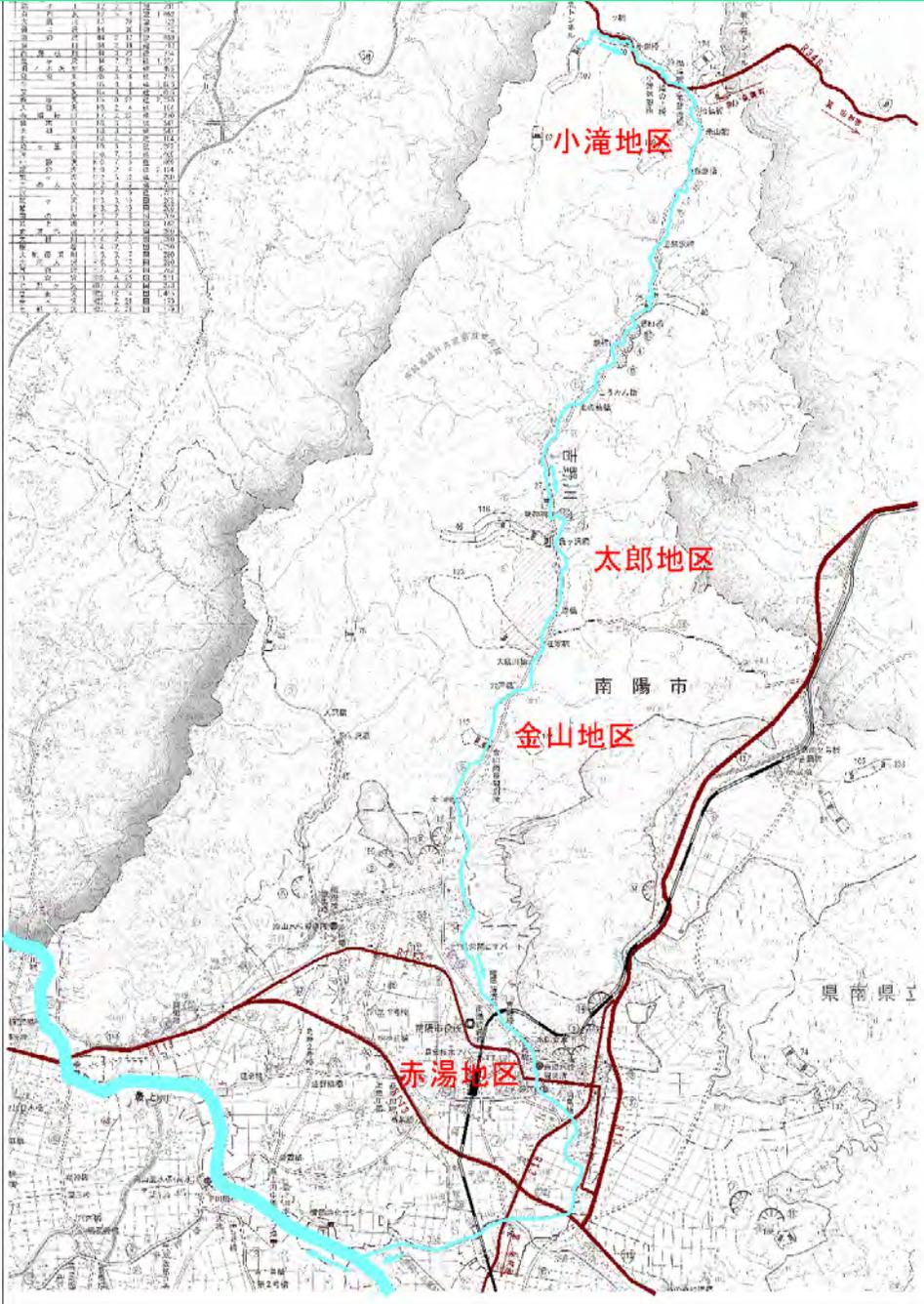
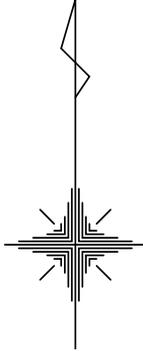
～貝生雨量観測所～



～赤湯水位観測所～



吉野川の被害状況について







南陽市太郎地区 7/18 撮影

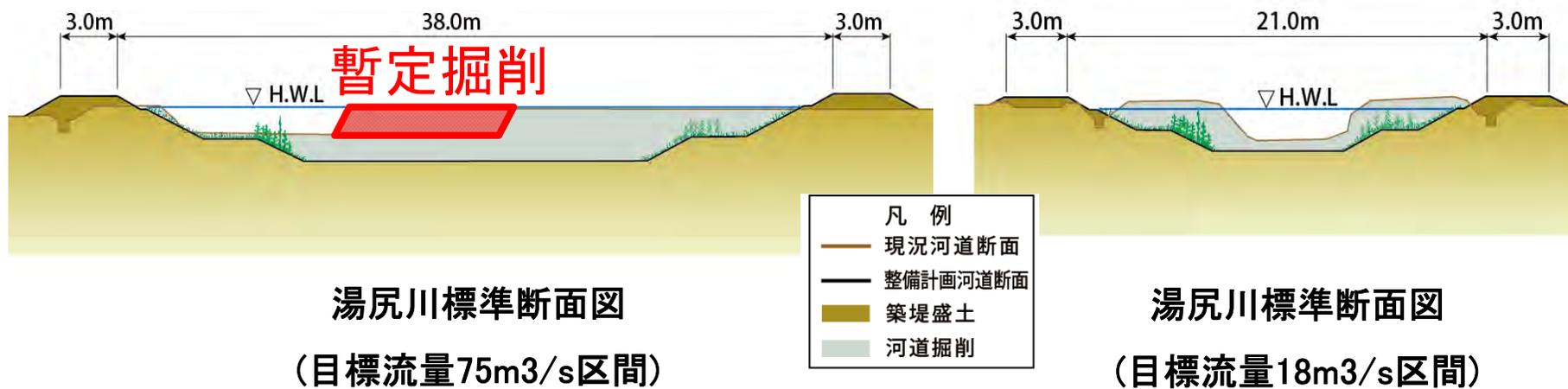




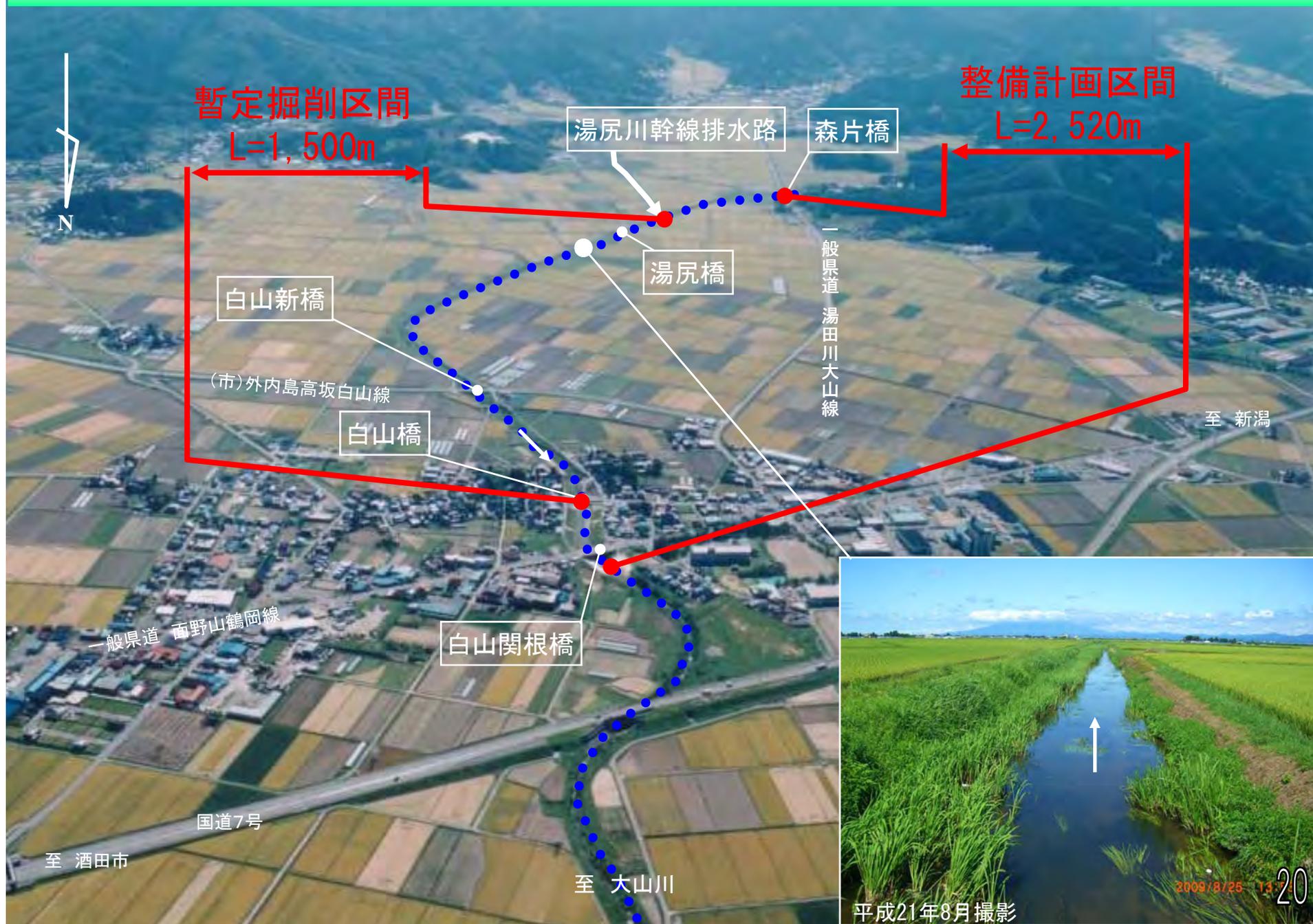
これまでの経緯

湯尻川の改修は、災害の発生頻度と予想される被害状況等を勘案し、また、下流大山川の現況流下能力に合わせた改修とし、**平成19年6月洪水と同規模の洪水を安全に流下させる**ことを目標としています。

河道の整備	築堤・河道掘削による河川改修を行い、洪水時の水位を低下させ、浸水被害の防止、軽減を図ります。
配慮事項	景観・生物等に配慮した自然環境の保全、親水性に配慮した改修、自然環境に配慮した護岸設置、濁水の流出防止等環境に配慮した工事の実施、特に中上流の豊かな自然環境を持つ河川の保全



事業の進捗状況



事業の進捗状況

